

海フェスタとやま

7月15日(土)～23日(日)開催!



海王丸の寄港が決定 新旧2隻の海王丸による総帆典帆がみどころ

「海フェスタとやま」は、祝日「海の日」にちなむ海や港、船の啓発イベントです。みんなで創る参加交流型イベントとして海王丸パークをはじめ県内全域で繰り広げる多彩な催しに、あなたもぜひ参加してみませんか。

各会場の主な催し

【海王丸パーク(富山新港周辺)】あいのかぜマリンフェスタ(15～23日:ステージ、花火大会、手づくり船レース、カッター教室、マリンバザール、こども広場、ビーチソフトバレー大会等)、海の総合展(15～23日)、各種船舶体験乗船、新湊～七尾ヨットレース(16日)、全国商船高専漕艇大会(15、16日)など

【富山地区(富山港周辺・市街地)】岩瀬みなと祭(22、23日:民謡街流し、バザール等)、港シンポジウム、プレジャーボート体験乗船、親子釣り大会など

【高岡地区(伏木港周辺)】伏木港まつり(21～23日:ステージ、民謡街流し、花火大会、バザール等)、船のパレード船上見学、広域連携フォーラム(8月1日)、ヨットでの家持能登巡行追体験の旅など

【魚津地区(魚津港周辺)】魚津みなとまつり(17日:ステージ、バザール等)、プレジャーボート体験など

【その他地区】滑川ふるさと龍宮まつり、朝日海の日フェスティバル、入善深層水ふれあいデー、氷見ラブリー海の市、カヌー体験教室、親子海の生物観察教室など

- 主な寄港船舶 練習帆船「海王丸」「あこがれ」、練習汽船「銀河丸」、客船「ぱしふいっくびーなす」、油回収船「白山」、気象観測船「清風丸」、巡視船、自衛艦など約20隻
- スタンプラリー 複数のスタンプポイントを設け素敵なグッズを進呈。

【主催者】海フェスタとやま実行委員会
(会長 石井隆一富山県知事、国土交通省、国の海事団体、県の港湾関連団体、経済・文化・スポーツ団体等で構成)

【お問い合わせ先】

海フェスタとやま実行委員会事務局
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
富山県港湾空港課内 TEL 076-444-4053

【詳細・最新情報のご提供】

海フェスタとやまホームページ
URL <http://www.umifes.jp>

果樹の里「聖籠町」

新潟県の海岸地帯の北部、飯豊連峰に源を発する加治川の下流に位置し、ほぼ平坦な地域です。町の総面積は37.99㎢で、東と南は新発田市、西は新潟港東港区を挟んで新潟市に接しています。

聖籠の果樹栽培の歴史はふるく、江戸時代（1845年頃）からナシが栽培されていました。その後、明治30年頃からモモ、ブドウ、オウトウの順に栽培されました。



主力品種の佐藤錦



さくらんぼ祭り

現在、盛んに栽培されているものはオウトウ、ブドウ、ナシ、モモの順で、オウトウの生産量は新潟県内の生産高の90%を占めています。

毎年、6月中旬には聖籠さくらんぼ祭りが地元JAの主催で開催されます。観光農園も開園し、6月上旬から下旬にかけて賑わっています。

ブドウの生産も盛んで、観光ぶどう園協議会の会員（20名）が開園する観光農園では収穫体験の他、バーベキューなども出来ます。（8月下旬～10月中旬まで）



聖籠町発祥の品種
「紅瑞宝」



観光ぶどう園

第55回金沢百万石まつり

と き●6月9日(金)～11日(日)

金沢百万石まつりは加賀藩祖前田利家公が天正11年(1583年)に金沢へ入城し、金沢の礎を築いた偉業を偲んで開催しています。加賀百万石の伝統と文化を彩る金沢百万石まつりをどうぞご覧下さい。

主な催し

開催日	時間	行事	開催場所
6月9日(金)	9:00～10:00	お水とりの儀式・茶筌供養	金沢神社・成巽閣
	10:00～10:30	祈願祭	尾山神社
	13:00～14:00	献茶式	尾山神社
6月10日(土)	8:30～16:00	百万石茶会	兼六園周辺
	15:00～15:30	百万石行列出発式	金沢駅東広場前
	15:30～19:00	百万石行列	金沢駅東広場前出発
	16:00～19:30	入城祝祭	金沢城公園
	19:00～22:00	百万石踊り流し	香林坊～片町間(国道157号線)
6月11日(日)	8:30～16:00	百万石茶会	兼六園周辺
	13:00～15:00	百万石まつり芸能選	金沢市観光会館
	18:30～21:00	百万石薪能	金沢城公園

第55回金沢百万石まつり実行委員会

金沢市役所観光交流課 TEL (076) 220-2194
 金沢商工会議所商工振興課 TEL (076) 263-1154
 FAX (076) 224-7079



【詳細・最新情報のご案内】

金沢百万石まつりホームページ
<http://100mangoku.net/>

(左の写真) 百万石行列

港フェスタいしかわ in 金沢 2006

と き●7月16日(日)開催

ところ●金沢港(無量寺・戸水埠頭イベント会場周辺)

「港フェスタいしかわ in 金沢 2006」は、体験航海や船内見学などを通じて海や港に親しみ、楽しめるイベントです。あなたも「みなと」へ行きませんか。

(戸水埠頭へ入る際には、乗船券または船内見学申込書が必要になります。また戸水埠頭内では、荷物保管場所への立入は禁止されています。)

主な催し

開催日	時間	行事	開催場所
7月16日(日)	10:00~12:00	【体験航海<事前申込(*1)>】海上自衛隊護衛艦「はるな」「しまかぜ」	金沢港戸水埠頭
	13:30~17:00	【船内見学<当日申込(*2)>】海上自衛隊護衛艦「はるな」「しまかぜ」	金沢港戸水埠頭
	10:00~17:00	【体験航海<事前申込(*1)>】海上自衛隊巡視船「かがゆき」	金沢港無量寺埠頭
	11:00~17:30	【港内見学<事前申込(*1)>】監督測量船「わかな」	金沢港戸水埠頭横

(*1) 体験航海・港内見学に参加ご希望の方は、事前にハガキによる申し込みが必要となります。お申し込み方法・乗船時間等については、「港フェスタいしかわ in 金沢 2006 実行委員会 (TEL 076-263-3710)」へお問い合わせ下さい。(6月下旬に希望者を募集)

(*2) 船内見学ご希望の方は、当日、会場配布の見学申込書に住所・氏名をご記入のうえ、戸水埠頭へ入る際に係員へお渡し下さい。

【その他の催し物】

●ハーバーカフェ&ワールド屋台●ハーバーコンサート●海事官署等パネル展●地元特産品販売コーナー 等

【お問い合わせ先】

(社) 金沢港振興協会内 港フェスタいしかわ in 金沢 2006 実行委員会 TEL (076) 263-3710

三 国 祭

北陸三大祭の1つで、福井県指定無形民俗文化財に指定されている「三国祭」は、5月15日の宮開式から5月21日の裏祭式典までの格式ある神事に加え、嶺北地方では数少ない曳き山車(やま)を出す最大規模の祭です。

20日の武者人形山車行列では、三味線・笛・太鼓ばやしにのり、奉納する山車7基が三国神社前に集結します。12時より神輿・山車発幸祭が執り行われ、13時に1番山車を先頭に巡行が開始されます。旧町内を巡行し、三国駅前通りに16時前後に1番山車を先頭に順次到着すると近迎の各区青年会の若者が高張り提灯持参で集結し、祭は最高潮に達します。

18時過ぎから各々の区へ戻る帰り山車における巨大な武者人形が家の軒をかすめるように練り歩く様子は、圧巻



武者人形の山車行列

(平成18年来場者数) 19日: 10,000人、20日: 150,000人、21日: 20,000人

福井県坂井市



という言葉だけでは表現できないほどの迫力があり、地元だけでなく県内外からも沢山の見物客が詰めかけます。露店や屋台が建ち並ぶなか、人の波を進み、曳き手と観客は一体となりクライマックスを迎えます。

車屋台に大きな人形がのるといふ今日の形の山車をだすようになったのは、約250年前からと伝えられています。山車の高さは、明治中期には10m以上もあり、近郷の村々からも勇壮な武者人形の頭が見えたといわれます。現在の高さは7mですが、日本海に生まれた湊町、三国の栄華と人々の気概は今も変わらず受け継がれています。

事務局よりお知らせ

総会について

7月26日(水)～27日(木)に、佐賀県唐津市で総会開催に向けて、開催地の唐津市をはじめ、事務局も勢力をあげて準備を進めております。

唐津市は、みなとを中心としたまちづくりに力を入れられており、海やみなとを中心とした市民参加型の多種多様なイベントが開催されています。また、唐津里浜づくり推進に、多くの市民が携わっているため、みなとまちづくりに関心が高い地域です。

ネットワーク総会終了後、市民と会員と一緒にみなとまちを考える場として、シンポジウムを開催することとなりました。シンポジウムに参加される地元市民の方々は、他の地域で行われている「みなとまちづくり」や「港の賑わいの取り組み」等について関心があるため、事務局として、他の地域での取り組み事例を紹介したパネル展を同時に開催することに致しました。今年度、日本海にぎわい・交流海道ネットワークが開催致しますシンポジウムに、多くの方が参加して頂きますので、会員皆様のご参加をお願い致します。



編集・お問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

北陸地方整備局 港湾計画課 村崎

TEL 025-370-6604 FAX 025-280-8783

